

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ～ 今こそ“地域の底力”で立ち上がろう ～

< 目 次 >

- 1 【教育振興】中学生の読書推進（その1） ～奥州市の実践事例～
 - 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【編集後記】あつしのひとりごと
-

1 【教育振興】中学生の読書推進（その1） ～奥州市の実践事例～

15日（火）～20日（日）に、ブータン王国のワンチュク国王とジツェン・ペマ王妃が来日しました。国の豊かさを、“お金や物がどれだけ増えたか”を物差しにして測るGDP（国内総生産）に対し、“人の幸せがどれだけ増えたか”を物差しとするGNH（国民総幸福）を考えたのがブータンという国です。

例えば、「どれだけの時間、家族と一緒に過ごすか」を国民に聞いています。家族と一緒にいる時間が長ければ、それだけ幸せの度合いが高いからです。また、教育や自然の豊かさについても調べています。これは豊かな心を育むからです。

物を失い、また物が不足することで喪失感や不便を感じた震災でしたが、支え合う人の心のあたたかさや地域の絆が心を満たしてくれたのも事実です。生活を支えるのは物ですが、心を支えてくれるのは物ではなく、幸せかどうかはその心が決めるものであることを、皆さんも強く感じていることと思います。

教育振興運動の実践区では、「ノー・テレビ・デー」を実施している地域が増えてきています。感想を聞くと、「親子の会話が増えた」という声が多く聞かれます。きっと、その家庭は“GNH”が高まっていることでしょう。親子読書や読み聞かせをおこなっている家庭も“GNH”が高いと言えるのではないのでしょうか。

豊かな心を育む読書という行為そのものも、「幸福度」を高めるものです。しかし、学年が上がるにしたがって読書離れが進んでいる現状は、なかなか改善されていません。小学生と同様に、中高校生が本を読む時間を大人が意図的に確保してあげる必要があります。

奥州市では、昨年、市内全ての中学校に地域の読書ボランティアが訪問して、

ブックトークや読み聞かせをおこないました。初めての試みでしたが、その成果は大きく、今年も取り組まれています。市教育委員会のバックアップを受けて、中学校が受け入れ体制を整え、地域のボランティアが訪問することで、奥州市の中学生は「幸福度」がアップしています。

★中学生へのブックトーク実践（奥州市；22年度報告書）

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/ousyu_h22houkoku.pdf

2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

（教ちゃん）振ちゃん。新しい地域や社会をつくるために、小中学生に何ができると思う？

（振ちゃん）え～、難しいなあ。僕、そんなこと考えたこともないよ。

（教ちゃん）もう～。振ちゃんに聞いたのが間違いだったわ。11月6日に「全国生涯学習ネットワークフォーラム」の“子ども熟議”が、東京・山田町・石巻市を中継で結んで開かれたのだけど、3会場の小中学生の皆さんは真剣に考えていたわよ。

（振ちゃん）それで、何だって？

（教ちゃん）山田町の小学生は、「スマイル・あいさつ・地域交流・伝えること・つながること」で自分たちのパワーを世界中に発信するんだって。山田町の中学生は、“強生・共生・協生”で頑張っている姿を山田町の皆さんに発信していくことを考えていたわ。

（振ちゃん）すごい……。オ・ト・ナじゃん。

（教ちゃん）山田町の会場には、大槌町の小中学生も参加したの。大槌町の小学生は、「みんなが家族の元気で明るい町」をつくるために、地域の行事には積極的に参加して、笑顔で挨拶を交わし、ふれあっていたって言うていたわ。中学生は、震災後、何もできなかった悔しさから、若い力を地域のために活かして恩返しをしたい、支えあうつながりを大切にしていきたいって発言していたのよ。みんな、振ちゃんと違ってちゃんと考えているのよ。

（振ちゃん）地域でも、子どもたちの話を聞く場を設ける必要があるよね。それが、小中学生にも「地域の一員である」という自覚を促すことにつながると思うな。

（教ちゃん）そうね。小中学生は地域に出て行き、地域は小中学生を受け入れる。片方だけに求めるのではなく、相互に認めることが必要ね。

（振ちゃん）あっ……。オチを考えていなかった。

3 【編集後記】あつしのひとりごと

宮古地区では、市町村の教育振興運動の活動を応援する事業「みんなで教振・きずなキャラバン」が行われています。そのひとつとして岩泉町立門小学校で行われた家庭教育学級で、教育振興運動の概要と読書の大切さのお話と読み聞かせの実演をさせていただきました。

★家庭教育学級の資料

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/kado_kateisiryoku.pdf

笑える資料だったと思いますが、実物を見たい・・・という人は、11月27日（日）宮古市；シーアリーナと12月10日（土）久慈市；アンバーホールで行われる「さんりくこどもフェスタ」の読み聞かせのコーナーにいますので、親子で遊びにきてくださいね。

★さんりくこどもフェスタのチラシ

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/sanriku_festa.pdf

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第58号は、12月13日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～56号）はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_bn.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_zj.html

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_s.html

~~~~~配信元~~~~~

\*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

~~~~~